



J R 連 合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を!!

2022 年度

No. 7

2022年 6月28日

日本鉄道労働組合連合会

2022 平和行動 in 沖縄 連合平和オキナワ集会

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 恒久平和を実現しよう!!



6月23日、連合2022平和集会 in 沖縄「平和オキナワ集会」が那覇市内で開催され、JR連合を代表して3名が参加した。3年ぶりに現地での集合開催となった本集会は、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに、沖縄「慰霊の日」にあわせて開催された。

平和集会の第一部では、法政大学法学部政治学科の明田川融教授より「沖縄の施政権返還50年と日米地位協定」をテーマに日米地位協定の歴史的経緯や課題、課題解決にむけた取り組みについて、本集会の基調となる講演があった。

第二部の平和式典では、主催者を代表して連合芳野友子会長が挨拶に立ち、「平和で安全な社会は私たちが暮らし、働く上で欠かすことができない。米軍基地や日米地位協定に関する問題を沖縄だけでなく、日本全体、労働者全体の問題と捉え、連合は課題解決にむけて取り組んでいく。本集会を通じて平和の尊さ、戦争の悲惨さについて再認識し、平和運動の輪を広げていこう」と呼び掛けた。その後、来賓あいさつとして、玉城デニー沖縄県知事より「長い間、沖縄は米軍基地があるが故に多くの苦悩に苛まれてきた。一方で、誰よりも恒久平和を願い、誇りや豊かさを求める気持ちは強い。そうしたオキナワの心を広く発信し、世界中の人と協力・信頼し合うことで、先人たちが築いてきた平和への取り組みを次世代に繋いでいきたい」と強く訴えた。

その後、ピースリレーでは、連合沖縄の東森政行会長から次の平和行動の開催地である連合広島の大野真人会長へピースフラッグが引き継がれた。最後に、連合沖縄の堀川恵女性委員会幹事による平和アピールで「沖縄戦の悲劇を二度と繰り返さない」「沖縄が直面する問題の実相を学び、その解決に取り組んでいく」「世界の恒久平和の実現にむけて運動を進めていく」ことを「平和オキナワ集会」に結集した全員で確認しあった。



左：連合 芳野友子会長あいさつ、右：ピースリレー